

東京藝術大学卒業。第6回ニコ・ドスタル国際オペレッタコンクール第3位。第1回コンセル・マロニエ21優秀賞。ルーマニア国立ヤシ歌劇場にて「リゴレット」ジルダ、「仮面舞踏会」オスカル、「愛の妙薬」アディーナに出演。国内でも「カルメン」ミカエラ、「椿姫」ヴィオレッタ、「ラ・ボエーム」ミミ、「夕鶴」つう等に出演。本年2月藤原歌劇団公演「カルメル会修道女の対話」ではコンスタンス修道女で好評を博した。



つう(一六日)  
大貫裕子



つう(一七日)  
川越塔子

東京大学法学部卒業、武蔵野音楽大学大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第20期修了。第3回BUNKAMURAオペラティックバトル「明日のマリア・カラス、ぼくらのドミンゴをさがせ」にて優勝後、2002年日本オペラ協会公演「夕鶴」つうでオペラデビュー。ローマに留学後、2009年には日本オペラ協会公演「天守物語」富姫、藤原歌劇団公演「愛の妙薬」アディーナと続いて主役、好評を博した。



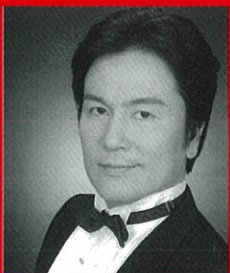
総監督  
大賀寛



指揮  
江上孝則



演出  
今井伸昭



与ひょう(一六日)  
松浦健



与ひょう(一七日)  
持木弘



運ず  
清水良一



惣ど  
中村靖

時はいつも知れず、ある雪国の村。辺り一面の雪の中に、一軒の小さな農家がありました。ここに住む百姓の(与ひょう)に嫁いだ(つう)の織る布は高く売れると評判でした。村の男(運ず)と(惣ど)は、ばかの与ひょうが金儲けをしているのに目をつけて、こっそり機屋(はたや)を覗き込みます。そこで鶴の羽を見つけたので、二人はつうは鶴の化身ではないかと疑いました。二人が与ひょうにそのことを問い詰めると、与ひょうは以前に鶴を助けたことがあると言うので、ますます確信を持ちます。そこで運ずと惣どの二人は与ひょうをたきつけて、つうにもっと布を織ってもらい、都で高く売ろうと誘いました。



与ひょうは夕飯を食べているときつうにもう一度あの布を織ってほしいと言います。つうは布を織るのは最後だと約束したはず、と断りますが、欲におぼれた与ひょうは、「布を織れ！」と叫ぶのです。つうにっうは布を織る決心をしますが、布を織っている間は、決して機屋を覗かないということを決めました。しかし運ずと惣どの二人は、与ひょうが止めるのも聞かずに機屋を覗くと、一羽の鶴が布を織っているではありませんか。それを聞いて与ひょうもとうとう中を覗いてしまいました。瘦せ細ったつうは、織り上げた二枚の布を持って機屋から出てきました。そして泣きながら、「もう人間の姿ではない」と言い遠くへと立ち去ってしまったのです。



# 夕鶴

日本オペラ協会 京都公演

歌劇





■入場料(全席指定)  
S席 一般/10,000円 シニア/9,000円  
京都芸術劇場友の会/8,000円  
A席 一般/8,000円 シニア/7,500円  
京都芸術劇場友の会/7,000円  
学生&ユース席/2,500円(座席範囲指定)  
※ユースは25歳以下、シニアは60歳以上  
※学生、ユース、シニアは要身分証明書提示

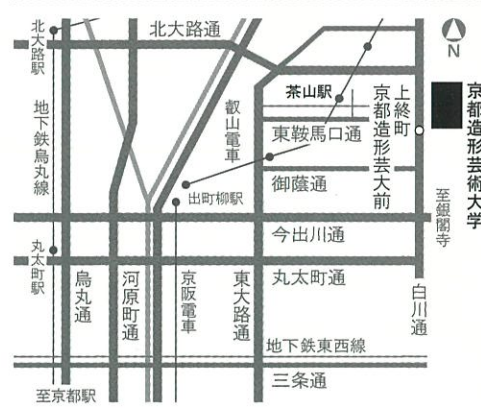
■前売開始 平成22年7月6日(火)10:00

■チケット取扱い  
京都芸術劇場チケットセンター  
tel. 075-791-8240 (平日10時~17時)  
劇場オンラインチケットストア ※要事前登録(無料)  
PCから <http://www.k-pac.org/>  
携帯から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>  
※要事前登録(無料)  
電子チケットびあ <http://t.pia.co.jp>  
tel. 0570-02-9999 (Pコード:108-545)  
KBS京都事業部 tel. 075-431-8300  
(電話のみ/10時~17時 ※土・日・祝除く)  
京都新聞文化センター(京都新聞社1F)  
tel. 075-256-0007  
(窓口のみ/10時~17時 ※土・日・祝除く)  
京都音協プレイガイド  
tel. 075-211-0261 (10時~18時30分 ※日・祝除く)  
京都・滋賀各大学生協プレイガイド

■お問い合わせ  
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター  
606-8271  
京都市左京区北白川瓜生山2-116  
tel. 075-791-9207  
fax 075-791-9438



京都芸術劇場  
モバイルサイト



■JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から  
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、  
「上終町・京都造形芸大前」下車  
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

■京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から  
京都市バス204循環に乗車、  
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

■京阪電車出町柳駅から  
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

■京都駅からタクシーで約40分  
※駐車場はございませんので、お車・バイクでの  
ご来場はお断りします

※公演写真/日本オペラ協会公演「夕鶴」2002年新国立劇場(中)

日本人の手になるオペラの最高傑作と言われる「夕鶴」。歌舞伎とオペラが理想的に上演できる京都芸術劇場 春秋座での待望のオペラ公演が決定しました! 「夕鶴」は海外での上演も多く、主人公つうの健気な献身は世界各地で涙を誘っています。民話「鶴の恩返し」を題材として、木下順二が書き下ろした戯曲「夕鶴」を一字一句変えずに作曲した團伊玖磨のこのオペラは、春秋座にぴったりの作品です。今が旬の二人のソプラノと手堅い男性陣を迎えて展開される歌劇「夕鶴」。秋の京都でお楽しみください。

木下順二・原作 團伊玖磨・作曲 大賀寛・総監督 江上孝則・指揮

今井伸昭・演出 つう・大貫裕子(二六日)川越塔子(二七日) 与ひよう・松浦健(二六日)持木弘(二七日)  
運ず・清水良一 惣ど・中村靖 子供たち・ひまわり児童合唱団 夕鶴特別編成オーケストラ  
美術・増田寿子 衣裳・阿部朱美 照明・稲葉直人 コレベイトール・大野美智子 文芸デザイン・藤原裕三 舞台監督・渡邊真二郎 日本語唱法・大賀寛  
制作・財団法人日本オペラ振興会 主催・京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 協賛・株式会社進々堂 後援・京都新聞社、KBS京都

京都芸術劇場 春秋座 (京都造形芸術大学内) 二〇一〇年一〇月一六日(土)一七時開演 一〇月一七日(日)一四時開演



京都芸術劇場  
春秋座

